

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	キャリアサポートⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアサポートⅠ		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		1
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の将来像を明確にし、そのために必要な現場で必要なスキルや考え方を習得する。</li><li>就職活動の流れや業界、自身について理解し、就職活動に向けての準備を整える。</li><li>社会人としての基本的なマナー、身だしなみ、コミュニケーションを習得する。</li></ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>業界、職種研究や自己分析を行い、自身や業界、職種について理解ができている。</li><li>自分の強みを理解し、分かりやすく相手に伝えることができている。</li><li>社会人としてのマナーを習得し、電話やメール応対ができている。</li></ul>			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"><li>本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。</li><li>確認テスト40%（全4回：社会人としてのマナーや電話、メール応対が理解できている状態）、課題60%（全8回：業界、職種研究及び自己理解ができている、就職活動に向けての準備ができている状態）の割合で評価する。</li></ul>			
認定条件	<ul style="list-style-type: none"><li>成績評価が2以上の者。</li><li>本科目の課題や確認テストが提出されている者。</li></ul>			
関連資格				
関連科目				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。			
担当教員	吉田 正明	実務経験	○	
実務内容	大手IT企業にて業務改善等のコンサルティング業務に従事。 また、ITサービスの企画も経験。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション (講義2時間、事後学習1時)	①授業の目的や概要を理解し、自分が働く業界や目指す職業について考える ②就職活動の流れ、情報の取捨選択や情報収集の仕方について知る 課題：自身の卒業後の目標について
2	業界理解について1 (講義1時間30分)	①WEB・IT業界についての理解を深める ②業界の特徴や求められるスキルを把握する
3	業界理解について2 (講義1時間、事後学習3時間)	①職種や企業についての理解を深める ②興味のある企業について複数調査し、概要をまとめる 課題：企業研究

4	業界理解について3 (講義1時間、事後学習3時間)	①職種による業務内容の違いを知る ②興味のある職種について複数調査し、違いをまとめる 課題：職種研究
5	自己分析について1 (講義1時間、事後学習2時間)	①ジョハリの窓などを活用し、自己分析をする ②自己分析の結果をもとに自己理解を深める 課題：自己分析
6	自己分析について2 (講義1時間、事後学習2時間)	①他己分析を実施し、より自己分析について理解を深める ②自己分析との違いを理解し、自分の強みを把握する 課題：他己分析
7	自己分析について3 (講義1時間、事後学習2時間)	①自己PRの作成ポイントを理解する ②自己分析をもとに自己PRを作成する 課題：自己PR
8	就職活動について (講義1時間30分)	①就職活動に必要なことや身だしなみについて理解する ②履歴書の書き方のポイントを知る
9	履歴書作成について (講義1時間、事後学習2時間)	①志望動機の書き方や文章作成のポイントを知る ②履歴書を作成する 課題：履歴書作成
10	面接対策について1 (講義2時間)	①面接の流れや質疑応答の内容について知る ②表情や聴き方、伝え方など面接のポイントを理解する
11	面接対策について2 (講義1時間、事後学習3時間)	①PREP法など伝え方の手法を知る ②質問に対しての自分なりの考えや意見をまとめる 課題：模擬面接
12	電話対応について (講義2時間、事後学習1時間)	①電話の受け方、かけ方、正しい言葉遣いやメモの取り方について知る ②電話の取次ぎ方、マナーについて知る 確認テスト：電話の受け方、かけ方、言葉遣いなど
13	メール対応について (講義2時間、事後学習1時間)	①メール内文章の作成のポイントについて理解する ②CC、BCCの使い分け、マナーについて知る 確認テスト：メールの送り方、文章作成など
14	仕事の基本について (講義2時間、事後学習1時間)	①仕事の基本となるコミュニケーションや身だしなみについて知る ②報連相や指示を受けるポイントなどを知る 確認テスト：コミュニケーション、身だしなみ等のポイント
15	まとめ (講義1時間、事後学習3時間)	①自身の制作物や履歴書等についてのプレゼンができる ②適切な言葉遣いなどで会話、メールができる 確認テスト：プレゼンテーション

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	デジタル基礎知識Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	デジタル基礎知識Ⅰ		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科	1	
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ Webの仕組みや歴史を学びながら、必要な用語・単語を理解する。 ・ プロデューサー/ディレクターなど、Web制作のクリエイティブでない部分についての知識を身につける。				
到達目標	・ Webに関する用語を覚える ・ Webの基礎知識(仕組み・歴史)を理解する ・ Web制作のプロセス(マネジメント/企画/デザイン)を理解する				
評価基準	・ 本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・ 確認テスト40% (全5回：Webに関する用語や基礎知識、設計プロセスを理解している状態)、課題60% (全11回：Webに関する基礎知識や基本的な用語、制作における流れを知っている状態) の割合で評価する。				
認定条件	・ 成績評価が2以上の者。 ・ 本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	デジタル基礎知識Ⅱ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション (講義1時間、事後学習1時間)	①授業の目的や概要を理解する ②自身が知っているWebについて振り返る 課題：自身が活用しているWebシステムについて調査
2	Webの基礎知識 (講義1時間)	①インターネットとWebの歴史について知る ②WWWの仕組みを理解する
3	Webの基礎知識 (講義1時間)	①ブラウジング環境について知る ②サーバー環境について知る

4	Webの基礎知識 (講義1時間、事後学習1時間)	①インターネットの問題点について理解する ②コミュニケーションとしてのWeb、マーケティングとしてのWebについて知る 課題：Webの基礎知識におけるキーワード確認
5	インターネットビジネス (講義1時間)	①インターネットの市場価値と影響力、インターネットをビジネスに活かす背景を知る ②インターネットのビジネスモデル、インターネットのメディア特性について理解する
6	インターネットビジネス (講義1時間)	①インターネットのデータ活用とWebサービス、モバイルインターネットについて知る ②スマートフォンアプリ、ウェアラブルデバイス、電子書籍について理解する
7	インターネットビジネス (講義1時間)	①コーポレートコミュニケーションとWebサイトについて知る ②ブランディングとCSR、ECビジネスについて理解する
8	インターネットビジネス (講義1時間、事後学習2時間)	①インターネット関連法規について理解する ②著作権、クリエイティブ・コモンズについて知る 課題：インターネットトラブルに関する事例を調査する 確認テスト：Web基礎知識、インターネットビジネスにおける確認
9	プロジェクトマネジメント (講義1時間)	①プロジェクトマネジメントの必要性について理解する ②予算の設定と管理について知る
10	プロジェクトマネジメント (講義1時間)	①スタッフの役割と管理について理解する ②リソース管理について知る
11	プロジェクトマネジメント (講義1時間、事後学習1時間)	①スケジュール管理について理解する ②PDCAサイクルについて理解する 確認テスト：プロジェクトマネジメントにおけるキーワード確認
12	Webサイトの企画・設計 (講義1時間、事後学習1時間)	①Webサイトの主なパターンを知る ②Webサイト制作のワークフローを理解する 課題：Webサイトのそれぞれのパターンを調べ、まとめる
13	Webサイトの企画・設計 (講義1時間、事後学習1時間)	①比較による現状分析、評価手法による現状分析について知る ②Webサイトの狙いと目標の設定について理解する 課題：Webサイトの比較し、現状分析を行う
14	Webサイトの企画・設計 (講義1時間、事後学習1時間)	①ペルソナについて知る ②コンテンツの企画について理解する 課題：架空のサイト作成に伴う、ペルソナを作成する
15	Webサイトの企画・設計 (講義1時間)	①素材・ドキュメント管理について知る ②Webサイト設計の概論について理解する
16	Webサイトの企画・設計 (講義1時間、事後学習1時間)	①サイト設計書について理解する ②制作仕様書について理解する 課題：指示に基づいたサイト設計書を作成する
17	Webサイトの企画・設計 (講義1時間・事後学習1時間)	①情報アーキテクチャ設計について知る ②公開と運用について理解する 課題：Webサイトの企画・設計におけるキーワード確認
18	Webデザイン・制作実務 (講義1時間)	①テキスト素材、画像素材について知る ②写真素材、映像素材・音声素材について知る

19	Webデザイン・制作実務 (講義1時間、事後学習1時間)	①インタラクティブコンテンツ、ビジュアルデザインの基礎について知る ②カラースキーム、タイポグラフィとフォントについて理解する 課題：色相環に沿ったデザインを調査する
20	Webデザイン・制作実務 (講義1時間)	①コーポレートアイデンティティ、Web標準の概要について知る ②Webサイト制作の基本言語について理解する
21	Webデザイン・制作実務 (講義1時間)	①CSS設計について知る ②Webアクセシビリティの概要、規格について理解する
22	Webデザイン・制作実務 (講義1時間)	①プログラム関連の基礎知識について知る ②クライアントサイドプログラミング、サーバーサイドプログラミングについて理解する
23	Webデザイン・制作実務 (講義1時間、事後学習1時間)	①セキュリティ対策について知る ②新技術への対応を知る 確認テスト：Webデザイン・制作実務におけるキーワード確認
24	Webマーケティング (講義1時間)	①Webマーケティングの全体像について知る ②インターネット広告の形式を理解する
25	Webマーケティング (講義1時間、事後学習1時間)	①リスティング広告について知る ②ソーシャルメディアマーケティングについて理解する 課題：ソーシャルメディアマーケティングについて調査する
26	Webマーケティング (講義1時間、事後学習1時間)	①動画マーケティングについて知る ②SEO、LPOについて理解する 課題：動画マーケティングについて調査する
27	Webマーケティング (講義1時間)	①オウンドメディアの活用について知る ②インターネット広告の形式を理解する
28	Webマーケティング (講義1時間、事後学習1時間)	①アクセス解析ツールと継続的な活用について知る ②Googleの各種サービスの活用について知る 確認テスト：Webマーケティングにおけるキーワード確認
29	まとめ (事前学習1時間、講義1時間)	①学習内容の総まとめ ②総合テストの解説 確認テスト：総合テスト

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	デジタル基礎知識Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	デジタル基礎知識Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		1
使用教材	Pythonで作って学べる ゲームのアルゴリズム入門		出版社	ソーテック社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・プログラミングやその仕組みを学びながら、アルゴリズムの考え方を理解する。 ・プログラミングして理解を深めるために、Pythonの基本的な知識を学ぶ。				
到達目標	・アルゴリズムとプログラミングの関係と概要について理解する。 ・Pythonを実行する環境を作成することができる。 ・条件分岐や繰り返しといった、プログラミングでも基本的な処理を理解して、流れ図を作成することができる。				
評価基準	・本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・確認テスト40%（全3回：プログラミングとアルゴリズムの基本知識理解し、活用できる状態）、課題60%（全5回：プログラミングとアルゴリズムの基本操作、知識をもとに、指示に従ったコーディングができる状態）の割合で評価する。				
認定条件	・成績評価が2以上の者。 ・本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	デジタル基礎知識Ⅰ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション (講義1時間、事後学習1時間)	①授業の目的や概要を理解する ②アルゴリズムとプログラミングについて理解する 課題：Python使用の環境構築
2	プログラミングの基礎 (講義2時間)	①流れ図、入力と出力について理解する ②変数について理解する
3	プログラミングの基礎 (講義2時間)	①条件分岐について理解する ②条件分岐の流れ図について理解する

4	Webの基礎知識 (講義1時間、事後学習1時間)	①繰り返しについて理解する ②繰り返しの流れ図について理解する
5	プログラミングの基礎 (講義1時間)	①関数について理解する
6	プログラミングの基礎 (講義1時間、事後学習1時間)	①配列について理解する ②配列の流れ図について理解する 確認テスト：プログラミングの基礎知識を実践する
7	ミニゲームを作ろう① (講義1時間)	①CUIとGUIについて理解する ②乱数の使い方について理解する
8	ミニゲームを作ろう① (講義1時間、事後学習1時間)	①単語入力ゲームを作る仕組みを理解する ②文字列の定義を理解し、適切なコーディングをする 課題：単語入力ゲームを作る
9	ミニゲームを作ろう② (講義1時間、事後学習1時間)	①ジャンケンゲームを作る仕組みを理解する ②乱数の使い方について理解し、適切なコーディングをする 課題：ジャンケンゲームを作る
10	ミニゲームを作ろう③ (講義1時間、事後学習2時間)	①もぐら叩きゲームを作る仕組みを理解する ②時間計測、機能を待つ関数について理解し、適切なコーディングをする 確認テスト：もぐら叩きゲームを作る
11	キャンバスに図形を描こう (講義2時間)	①配列の復習 ②GUI、キャンバスの使い方について理解する
12	キャンバスに図形を描こう (講義1時間)	①図形を描く、画像ファイルを扱う ②画像を自動的に動かす
13	キャンバスに図形を描こう (講義1時間)	①マウスの操作による画像の動きを理解する ②マウスを追いかける画像についてのアルゴリズムを理解する
14	三目並べを作ろう (講義2時間、事後学習2時間)	①マス目を描く、管理について理解する ②線形探索について理解する 課題：三目並べゲームを作る
15	神経衰弱を作ろう (講義3時間、事後学習3時間)	①画像ファイルの扱い、管理、操作について理解する ②二分探索法、基本選択法、基本交換法について理解する 課題：神経衰弱ゲームを作る
16	リバーシを作ろう (講義5時間、事後学習5時間)	①基本交換法について理解する ②基本挿入法について理解する 確認テスト：リバーシを作る
17	まとめ (講義1時間)	今までの総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	WEB制作演習基礎A I		
必修選択	選択	(学則表記)	WEB制作演習基礎A I		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科	2	60
使用教材	・ Webクリエイター能力認定試験 (HTML5対応版) エキスパート 問題集 ・ Webクリエイター能力認定試験HTML5対応エキスパート公式テキスト ・ 1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座 第2版 ・ 改訂3版JavaScript本格入門～モダンスタイルによる基礎から現場での応用まで		出版社	・ サーティファイ ・ FOM出版 ・ SBクリエイティブ ・ 技術評論社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ Webの仕組みを理解し、HTMLとCSSの役割や構造を理解し、基礎を身につける。				
到達目標	・ Webの仕組みを自分で説明できる ・ HTMLを使った基礎的な制作作業ができる ・ CSSの役割と構造を理解し説明できる ・ CSSを使った基礎的な制作作業ができる				
評価基準	・ 出欠状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・ 確認テスト40%、小テスト30%、提出物30%				
認定条件	・ 成績評価が2以上の者。 ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者。				
関連資格	なし				
関連科目	WEB制作演習基礎A II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平田 真由美	実務経験		○	
実務内容	数々の資格を活かし、パソコンイラストレーターやWeb製作に携わった経歴あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	学習の目的、到達目標、専門用語の解説、Webサイトの仕組み
2	制作基礎	Webサイトの基礎知識、エディターの使い方、HTMLの特徴

3	HTML基礎①	HTMLの基礎、Webデザインの基礎知識、表の作り方
4	HTML基礎②	HTMLの記述方法、HTMLの記述(フォームの作り方、エリアごとのグループ分け)
5	CSS基礎①	CSSの基礎、CSSの読み込み、セレクター、CSSの使用
6	CSS基礎②	CSSの基礎、Webフォント、色の指定、配色について、背景画像の指定
7	CSS基礎③	CSSの基礎、幅と高さの指定、余白の指定、線の指定
8	CSS基礎④	CSSの基礎、リストの装飾、クラスとIDの指定方法、リセットCSS
9	CSS基礎⑤	flexboxによるレイアウト組み
10	モダンデザイン実践①	モバイルファーストのシングルカラムのサイト制作
11	モダンデザイン実践②	モバイルファーストのシングルカラムのサイト制作
12	モダンデザイン実践③	レスポンシブ対応、ファビコン、ボタンアニメーション
13	モダンデザイン実践④	2カラムのWebサイト制作
14	モダンデザイン実践⑤	2カラムのWebサイト制作
15	モダンデザイン実践⑥	タイル型レイアウト制作、レスポンシブ対応
16	モダンデザイン実践⑦	お問い合わせページの制作、SNSの導入、Google Mapの表示、レスポンシブ対応
17	演習課題	学んだ技術で制作練習
18	演習課題	学んだ技術で制作練習
19	ポートフォリオサイト作成①	【演習課題】ポートフォリオ制作(企画)
20	ポートフォリオサイト作成②	【演習課題】ポートフォリオ制作(企画)
21	ポートフォリオサイト作成③	【演習課題】ポートフォリオ制作(デザイン)
22	ポートフォリオサイト作成④	【演習課題】ポートフォリオ制作(デザイン)
23	ポートフォリオサイト作成⑤	【演習課題】ポートフォリオ制作(デザイン)
24	ポートフォリオサイト作成⑥	【演習課題】ポートフォリオ制作(デザイン)
25	ポートフォリオサイト作成⑦	【演習課題】ポートフォリオ制作(コーディング)

26	ポートフォリオサイト作成⑧	【演習課題】ポートフォリオ制作（コーディング）
27	ポートフォリオサイト作成⑨	【演習課題】ポートフォリオ制作（コーディング）
28	ポートフォリオサイト作成⑩	【演習課題】ポートフォリオ制作（コーディング）
29	期末総まとめ	テストの実施
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	WEB制作演習基礎A II		
必修選択	選択	(学則表記)	WEB制作演習基礎A II		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科	2	60
使用教材	・ Webクリエイター能力認定試験 (HTML5対応版) エキスパート 問題集 ・ Webクリエイター能力認定試験HTML5対応エキスパート公式テキスト ・ 1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座 第2版 ・ 改訂3版JavaScript本格入門～モダンスタイルによる基礎から現場での応用まで 技術評論社		出版社	・ サーティファイ ・ FOM出版 ・ SBクリエイティブ ・ 技術評論社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ Webの仕組みを理解し、JavaScriptの役割や構造を理解し、基礎を身につける。				
到達目標	・ Webの仕組みを自分で説明できる ・ JavaScriptを用いた簡単なプログラムを作成できる ・ HPの作成ができる				
評価基準	・ 出欠状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・ 確認テスト40%、小テスト30%、提出物30%				
認定条件	・ 成績評価が2以上の者。 ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者。				
関連資格	なし				
関連科目	WEB制作演習基礎A I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平田 真由美	実務経験		○	
実務内容	数々の資格を活かし、パソコンイラストレーターやWeb製作に携わった経歴あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション Javascript基礎①	学習の目的、到達目標、専門用語の解説、JavaScriptの仕組み
2	Javascript基礎②	基本構文と変数：変数、データ型、基本的な演算子

3	Javascript基礎③	制御構文：条件分岐 (if, else, switch)、ループ (for, while)
4	Javascript基礎④	関数の定義方法、パラメーターと戻り値、コールバックの基礎
5	Javascript基礎⑤	配列の基本操作、配列を使った簡単な実例
6	Javascript基礎⑥	オブジェクトの作成とプロパティ操作、基本的な用途と例
7	Javascript基礎⑦	DOMの基礎：DOMとは何か、要素の取得・変更
8	Javascript基礎⑧	イベントの基本：イベントリスナーの登録、簡単なクリックイベントの実装
9	Javascript応用①	関数応用：スコープ、クロージャ、アロー関数
10	Javascript応用②	配列応用：高階関数 (map, filter, reduce)、配列のコピーや結合
11	Javascript応用③	オブジェクト応用：オブジェクトの操作 (Object.keys, Object.values)、ネストされたオブジェクトの操作
12	Javascript応用④	エラーハンドリング (try-catch)、コンソールデバッグの基礎
13	Javascript応用⑤	非同期の概念、コールバックとsetTimeout
14	Javascript応用⑥	Promiseの基本構造、簡単な例 (APIリクエストの模擬)
15	Javascript応用⑦	イベントの伝播 (バブリングとキャプチャ)、カスタムイベント
16	Javascript応用⑧	class構文の基礎、継承の基本
17	Javascript応用⑨	importとexportの使い方、モジュールの基本的な活用例
18	Javascript応用⑩	ローカルストレージとセッションストレージ、簡単なブラウザAPIの使用例
19	Javascript総まとめ	今までの学習の総復習・確認テストの実施
20	テスト振り返り オリジナルサイト作品制作①	テストの振り返りと総まとめ振り返り 【演習課題】ポートフォリオサイト制作 (企画、デザイン、コーディング)
21	オリジナルサイト作品制作②	【演習課題】ポートフォリオサイト制作 (企画、デザイン、コーディング)
22	オリジナルサイト作品制作③	【演習課題】ポートフォリオサイト制作 (企画、デザイン、コーディング)
23	オリジナルサイト作品制作④	【演習課題】ポートフォリオサイト制作 (企画、デザイン、コーディング)
24	オリジナルサイト作品制作⑤	【演習課題】ポートフォリオサイト制作 (企画、デザイン、コーディング)
25	オリジナルサイト作品制作⑥	【演習課題】ポートフォリオサイト制作 (企画、デザイン、コーディング)

26	オリジナルサイト作品制作⑦	【演習課題】ポートフォリオサイト制作（企画、デザイン、コーディング）
27	オリジナルサイト作品制作⑧	【演習課題】ポートフォリオサイト制作（企画、デザイン、コーディング）
28	課題提出	作品集の完成品を提出
29	オリジナルサイト作品制作⑨	【演習課題】ポートフォリオサイト制作（作りこみ）
30	オリジナルサイト作品制作⑩	【演習課題】ポートフォリオサイト制作（作りこみ）

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	ITスキル基礎Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	ITスキル基礎Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		1
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ HTML/CSS/JavaScriptのそれぞれの構造を理解し、指示に従って基本的なコーディングができる。 ・ Webデザインに必要な基本的な要素を理解する。				
到達目標	・ HTML/CSS/JavaScriptを用いて、基本的なWebページが構築できる。 ・ Webサービスを作るうえで必要なタグを構築できる。				
評価基準	・ 本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・ 確認テスト40%（全4回：社会人としてのマナーや電話、メール対応が理解できている状態）、課題60%（全8回：業界、職種研究及び自己理解ができている、就職活動に向けての準備ができている状態）の割合で評価する。				
認定条件	・ 成績評価が2以上の者。 ・ 本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	ITスキル基礎Ⅱ・ITスキル基礎Ⅲ・ITスキル基礎Ⅳ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション HTML/CSS/JavaScript入門 (講義1時間、事後学習1時)	①授業の目的や概要を理解する ②学習に必要な環境構築ができている 課題：HTML/CSS/JavaScript入門編 環境構築
2	入門編1 タグを使い分けて見た目を作ろう (事後学習3時間)	①HTMLタグを理解する ②imgタグ、pタグ、spanタグの使い分けができる 課題：HTMLタグを使い分けたWebページの構築

3	入門編2 インテンドを整えよう (事後学習3時間)	①プログラミングを書く上で、きれいなコーディングができる ②読みやすいコードを理解している 課題：誰が見ても読みやすいコードを書く
4	入門編3 レイアウトの基礎を学ぼう (事後学習3時間)	①CSSを用いたコーディングができる ②CSSの特徴を理解し、レイアウトの基礎を身に付ける 課題：CSSを用いたWebページの構築
5	HTML/CSS/JavaScript実践① (講義1時間)	①前回までの学習の復習 ②SEOを意識した構築や異なるブラウザや言語での違いを理解する
6	入門編4 ヘッダー、フッターを使ってみよう(事後学習3時間)	①ヘッダー、フッターの目的や役割を理解する ②ヘッダー、フッターをタグを用いて構築する 課題：ヘッダー、フッターの構築
7	入門編5 アクセシビリティを意識してコーディングしてみよう (事後学習2時間)	①アクセシビリティについて理解する ②アクセシビリティを意識したコーディングができる 課題：コントラストや画像の説明を意識したWebページの構築
8	入門編6 SEOを意識したHTMLを書いてみよう (事後学習2時間)	①SEO、metaタグについて理解する ②SNSに合わせたタグの使い分けができる 課題：Xでの表示に合わせたコーディング
9	入門編7 スタイルを使いまわそう (事後学習3時間)	①コーディングを綺麗に使い分けるポイントを理解する ②classを統一し、綺麗なコーディングを身に付ける 課題：Class名を統一したCSSコーディング
10	入門編8 Flexboxを使ってレイアウトを作ろう(事後学習3時間)	①Flexboxの機能を理解する ②Flexboxを用いて柔軟にレイアウトができる 課題：バラバラのカードをまとめて綺麗なレイアウト構築
11	入門編9 レスポンシブ対応をしてみよう (事後学習1時間30分)	①PCとスマートフォンでの見え方の違いを理解する ②デバイスによる見え方の違いに対してレスポンシブ対応できる 課題：デバイスに合わせたWebページの構築
12	入門編10 異なるブラウザでも見た目が一致しているか確認しよう (事後学習1時間30分)	①ブラウザの違いによる表示の違いを理解する ②ブラウザによる表示方法に合わせて対応ができる 課題：ブラウザに合わせたWebページの構築
13	入門編11 スプレッド構文を使ってみよう (事後学習2時間)	①JavaScriptを用いたコーディングができる ②スプレッド構文を活用できる 課題：スプレッド構文を用いたコーディング
14	入門編12 HTMLにJavaScriptを読み込もう(事後学習2時間)	①HTMLとJavaScriptの紐づけについて理解する ②それぞれのファイル同士の紐づけができる 課題：HTMLとJavaScriptの紐づけ
15	入門編13 アロー関数を使ってみよう (事後学習2時間)	①アロー関数について理解する ②アロー関数を用いたコーディングができる 課題：アロー関数を用いたコーディング
16	HTML/CSS/JavaScript実践② (講義1時間)	①前回までの学習の復習 ②mapメソッド、promiseの特徴を知る

17	入門編14 mapメソッドの仕組みを知ろう (事後学習4時間)	①mapメソッドについて理解する ②mapメソッドを用いたコーディングができる 課題：mapメソッドを用いたコーディング
18	入門編15 Promiseを使ってみよう (事後学習4時間)	①Promiseについて理解する ②Promiseを用いたコーディングができる 課題：Promiseを用いたコーディングができる
19	まとめ HTML/CSS/JavaScript実践② (講義1時間)	①HTML/CSS/JavaScriptのそれぞれの特徴を理解している ②HTML/CSS/JavaScriptを用いたコーディングができる

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	ITスキル基礎Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	ITスキル基礎Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		1
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・HTML/CSS/JavaScriptのそれぞれの構造を理解し、指示に従ってより実践的なコーディングができる。 ・Webデザインに必要な実践的な要素を理解し、使い分けができる。				
到達目標	・HTML/CSS/JavaScriptを用いて、より実践的なWebページが構築できる。 ・HTML/CSS/JavaScriptの特徴を活かしながら、コーディングできる。				
評価基準	・本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・確認テスト40%（全4回：社会人としてのマナーや電話、メール対応が理解できている状態）、課題60%（全8回：業界、職種研究及び自己理解ができている、就職活動に向けての準備ができている状態）の割合で評価する。				
認定条件	・成績評価が2以上の者。 ・本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	ITスキル基礎Ⅰ・ITスキル基礎Ⅲ・ITスキル基礎Ⅳ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション HTML/CSS/JavaScript初級 (講義1時間、事後学習1時)	①授業の目的や概要を理解する ②学習に必要な環境構築ができている 課題：HTML/CSS/JavaScript初級編 環境構築
2	初級編1 リスト形式で表示しよう (事後学習3時間)	①リスト形式での表示を理解する ②タグを用いてリスト形式で表示ができる 課題：HTMLタグを用いてリスト表示をする

3	初級編2 floatを使ってレイアウトを作ろう (事後学習3時間)	①floatの特徴を理解する ②floatを用いてWebページをカスタマイズできる 課題：floatを用いて図形を並び替える
4	初級編3 要素を思い通りに重ねられるようになる (事後学習3時間)	①CSSの多層構造できる言語を理解する ②z-index,opacityの特徴を理解し、要素を重ねることができる 課題：要素を重ねた図形デザインを作成する
5	初級編4 ブロックレベルコンテンツとインライン レベルコンテンツの違いを理解しよう (事後学習3時間)	①ブロックレベルコンテンツとインラインレベルコンテンツの違いを理解する ②それぞれの違いを理解したコーディングができる 課題：それぞれの違いを理解したコーディング
6	初級編5 ローカルサーバーで確認しよう (事後学習1時間)	①Live Serverについて理解する ②ブラウザ表示でのコードの確認ができる 課題：Live Serverを用いたコード更新内容の確認
7	初級編6 標準仕様について知ろう (事後学習1時間30分)	①HTML/CSSのそれぞれの標準仕様を理解する ②標準仕様に従ったタグの使い分けができる 課題：article/sectionタグを用いたコーディング
8	初級編7 リンクタグを使いこなそう (事後学習1時間30分)	①リンクタグについて理解する ②リンクタグを用いて別のページへ遷移させることができる 課題：リンクタグを用いたWebページの構築
9	初級編8 GridLayoutを使えるようになる (事後学習1時間30分)	①GridLayoutについて理解する ②GridLayoutを用いて効果的なWebデザインができる 課題：GridLayoutを用いたWebページの構築
10	初級編9 CSSアニメーションを作ろう (事後学習1時間30分)	①CSSのアニメーションの機能を理解する ②アニメーションを用いて効果的なWebデザインができる 課題：アニメーションを用いたWebページの構築
11	初級編10 SVGについて知ろう (事後学習1時間)	①それぞれの画像の拡張子形式について理解する ②用途に合わせた拡張子形式を用いたWebページの構築ができる 課題：SVG形式画像を用いたWebページの構築
12	初級編11 バリデーションを設定しよう (事後学習3時間)	①バリデーションについて理解する ②バリデーションを設定したWebページの構築ができる 課題：バリデーションを設定したWebページの構築
13	初級編12 Networkパネルを使えるようになる (事後学習3時間)	①Networkパネルについて理解する ②Networkパネルを利用し、リクエストの状況を確認できる 課題：Networkパネルを利用し、リクエストの状況を確認する
14	HTML/CSS/JavaScript応用① (講義1時間)	①前回までの学習の復習 ②JavaScriptの様々な関数や構文について理解する
15	初級編13 if文を使えるようになる (事後学習3時間)	①if文について理解する ②if文を用いたコーディングができる 課題：if文を用いたコーディング

16	初級編14 ECMAScriptについて知ろう (事後学習3時間)	①ECMAScriptについて理解する ②ECMAScriptを活用したコーディングができる 課題：ECMAScriptを活用したコーディング
17	初級編15 DOM APIを使ってみよう (事後学習3時間)	①DOM APIについて理解する ②JavaScriptを用いてHTML/CSSを操作できるコーディングを行う 課題：DOM APIを用いたコーディング
18	初級編16 Node.jsについて知ろう (事後学習3時間)	①Node.jsについて理解する ②Node.jsを活用できる 課題：Node.jsを活用し、Webサーバを立ち上げる
19	初級編17 Consoleに表示されるエラーを読もう (事後学習3時間)	①Consoleについて理解する ②エラーの内容を理解し、正しくコーディングできる 課題：エラーを理解し、コードを修正する
20	まとめ HTML/CSS/JavaScript実践② (講義1時間)	①HTML/CSS/Javascriptを活用し、応用したコーディングができる ②エラー対応や実践的なスキルを理解する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	ITスキル基礎Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	ITスキル基礎Ⅲ		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		2
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・Gitの基本的な特徴や構造を知り、バージョン管理システムについて理解できる。 ・SQLの基本的な特徴や構造を知り、データベース言語について理解できる。				
到達目標	・Gitを用いて、チーム開発ができるようなシステム構築ができる。 ・SQLを用いてデータの抽出や分析の基本的な操作ができる。				
評価基準	・本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・確認テスト40%（全4回：社会人としてのマナーや電話、メール対応が理解できている状態）、課題60%（全8回：業界、職種研究及び自己理解ができている、就職活動に向けての準備ができている状態）の割合で評価する。				
認定条件	・成績評価が2以上の者。 ・本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	ITスキル基礎Ⅰ・ITスキル基礎Ⅱ・ITスキル基礎Ⅳ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション Git入門① (講義1時間、事後学習1時間)	①授業の目的や概要を理解する ②学習に必要な環境構築ができている 課題：Git入門 環境構築
2	Git入門編1 バージョン管理システムについて知ろう (事後学習4時間)	①Gitの基本的な用語、特徴を知る ②Gitの基本的な操作ができる 課題：Gitの基本的な操作を身に付ける

3	Git入門編2 コミットしてみよう (事後学習3時間)	①issue、コミットについて理解する ②場面を想定してコミット操作ができる 課題：依頼されたタスクを修正し、コミットする
4	Git入門編3 ブランチを使いこなそう (事後学習4時間)	①ブランチについて理解する ②ブランチの基本的な操作ができる 課題：ブランチの基本的な操作を身に付ける
5	Git入門編4 プッシュ・プルをしてみよう (事後学習4時間)	①プッシュ/プル、それに付随する用語について理解する ②プッシュ/プルの基本的な操作ができる 課題：プッシュ/プルの基本的な操作を身に付ける
6	Git入門編5 マージしてみよう (事後学習4時間)	①マージについて理解する ②今までの学習内容をもとにGitの一連の基本的な操作ができる 課題：Gitの基本的な用語を理解し、マージの基本的な操作を身に付ける
7	Git入門② (講義1時間)	①前回までの学習の復習 ②Gitのより実践的な構造を理解する
8	Git入門編6 変更を退避させてみよう (事後学習5時間)	①変更内容を退避させる方法を理解する ②stashを有効的に使うことができる 課題：stashを使い、変更内容を退避する
9	Git入門編7 コンフリクトを解消させてみよう (事後 学習5時間)	①コンフリクトについて理解する ②コンフリクトの対処方法を知り、解消することができる 課題：コンフリクト適切に解消する
10	Git入門編8 ログと差分を出力してみよう (事後学習5時間)	①Gitのログについて理解する ②ログの出力および差分の出力ができる 課題：ログ内からコミットを探し、その差分を出力する
11	Git入門編9 リベースしてみよう (事後学習5時間)	①リベースについて理解する ②リベースの基本的な操作ができる 課題：ブランチをリベースする
12	Git入門編10 タグを作ってみよう (事後学習5時間)	①Gitのタグについて理解する ②タグ作成の基本的な操作ができる 課題：Gitのタグを作成する
13	オリエンテーション SQL入門① (講義30分 事後学習30分)	①授業の目的や概要を理解する ②学習に必要な環境構築ができています 課題：SQL入門 環境構築
14	SQL入門編1 データを取り出してみよう (事後学習5時間)	①SQLについて理解する ②SELECT文を用いてデータを抽出できる 課題：ファイルの中から求めるデータを抽出する
15	SQL入門編2 簡単な条件検索をしてみよう (事後学習6時間)	①条件を指定してデータを抽出できる ②WHERE句を用いてデータを検索できる 課題：簡単な条件を検索してデータを抽出する

16	SQL入門編3 複雑な条件検索をしてみよう (事後学習6時間)	①複数の条件を指定してデータを抽出できる ②BETWEENやLIKE等を用いてデータを検索できる 課題：複数の条件のもと検索してデータを抽出する
17	SQL入門編4 グルーピング/並び替えをしてみよう (事後学習5時間)	①データのグルーピングと並び替えができる ②ORDER BYやGROUP BYを用いてデータを整理できる 課題：取得したデータを整理する
18	SQL 入門編5 集計関数を使ってみよう (事後学習5時間)	①集計関数のそれぞれの特徴について理解する ②集計関数を使い分けることができる 課題：集計関数を用いて、データを抽出する
19	SQL 入門編6 テーブルを結合してデータを取り出してみよう (事後学習5時間)	①テーブル結合について理解する ②複数のテーブルからデータを取り出せる 課題：内部結合、外部結合を用いて、データを抽出する
20	SQL 入門編7 条件分岐をしてみよう (事後学習4時間)	①条件分岐について理解する ②条件分岐を用いて、データを抽出できる 課題：条件分岐を用いて、指定のデータを抽出する
21	SQL 入門編8 サブクエリを使ってみよう (事後学習4時間)	①サブクエリについて理解する ②サブクエリを用いて、データを抽出できる 課題：サブクエリを用いて、指定のデータを抽出する
22	SQL入門② (講義 1 時間)	①前回までの総まとめ・復習 ②GitやSQLを活用し、効率的なデータ開発やデータ抽出や分析ができる

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	ITスキル基礎Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	ITスキル基礎Ⅳ		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		2
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ Pythonの基本的な特徴や構造を知り、バージョン管理システムについて理解できる。				
到達目標	・ Pythonを用いて、Webアプリ開発ができるようなシステム構築ができる。				
評価基準	・ 本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・ 確認テスト40%（全4回：社会人としてのマナーや電話、メール対応が理解できている状態）、課題60%（全8回：業界、職種研究及び自己理解ができている、就職活動に向けての準備ができている状態）の割合で評価する。				
認定条件	・ 成績評価が2以上の者。 ・ 本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	ITスキル基礎Ⅰ・ITスキル基礎Ⅱ・ITスキル基礎Ⅲ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション Python① (講義1時間、事後学習1時間)	①授業の目的や概要を理解する ②学習に必要な環境構築ができている 課題：Pythonバックエンド初級編 環境構築
2	Pythonバックエンド初級編1 開発環境を立ち上げてみよう (事後学習5時間)	①Pythonの開発環境を整える ②Pythonの基本操作の用語を知る 課題：Pythonの開発環境を準備する

3	Pythonバックエンド初級編2 APIのレスポンスを変えてみよう (事後学習4時間)	①APIについて理解する ②APIレスポンスの操作ができる 課題：APIのレスポンスを書き換える
4	Pythonバックエンド初級編3 APIの定義を変えてみよう (事後学習5時間)	①APIの定義について理解する ②APIのパスの書き換えなどの実装に慣れていく 課題：APIの定義の書き換え、クエリを追加する
5	Pythonバックエンド初級編4 APIの定義を追加してみよう (事後学習5時間)	①ヘルスチェックについて理解する ②ヘルスチェック用のAPI定義の基本的な操作ができる 課題：APIの定義を追加する
6	Pythonバックエンド初級編5 TO DOアプリの作成を始めよう (事後学習6時間)	①TO DOアプリ用のWeb API開発について理解する ②TO DOアプリ開発にむけた基本的な操作ができる 課題：TO DOアプリ用のWeb APIの準備ができる
7	Pythonバックエンド初級編6 TO DOリスト取得APIを作成しよう (事後学習5時間)	①TO DOアプリ用のWebAPIの構成が理解できる ②TO DOリスト詳細を取得するためのAPIの操作ができる 課題：TO DOリスト取得するためのAPIを構築する
8	Pythonバックエンド初級編7 TO DOリスト作成APIを作成しよう (事後学習5時間)	①TO DOリストを作成するためのAPIの操作ができる ②リスト作成に必要なAPIを追加できる 課題：TO DOリスト作成用のAPIを追加する
9	Pythonバックエンド初級編8 TO DOリスト更新APIを作成しよう (事後学習5時間)	①TO DOリストを更新するためのAPIの操作ができる ②リスト更新に必要なAPIを追加できる 課題：TO DOリスト更新用のAPIを追加する
10	Pythonバックエンド初級編9 TO DOリスト削除APIを作成しよう (事後学習5時間)	①TO DOリストを削除するためのAPIの操作ができる ②リスト削除に必要なAPIを追加できる 課題：TO DOリスト削除用のAPIを追加する
11	Pythonバックエンド初級10 TO DO項目取得APIを作成しよう (事後学習4時間)	①TO DOリストに紐づいたTO DO項目を取得するAPIの操作ができる ②TO DO項目取得に必要なAPIを追加できる 課題：TO DO項目取得用のAPIを追加する
12	Pythonバックエンド初級11 TO DO項目作成APIを作成しよう (事後学習4時間)	①TO DOリストに紐づいたTO DO項目を作成するAPIの操作ができる ②TO DO作成取得に必要なAPIを追加できる 課題：TO DO項目作成用のAPIを追加する
13	Pythonバックエンド初級12 TO DO項目更新APIを作成しよう (事後学習4時間)	①TO DOリストに紐づいたTO DO項目を作成するAPIの操作ができる ②TO DO作成取得に必要なAPIを追加できる 課題：TO DO項目作成用のAPIを追加する
14	Pythonバックエンド初級13 TO DO項目削除APIを作成しよう (事後学習4時間)	①TO DOリストに紐づいたTO DO項目を作成するAPIの操作ができる ②TO DO作成取得に必要なAPIを追加できる 課題：TO DO項目作成用のAPIを追加する
15	Pythonバックエンド初級14 ディレクトリを分けよう (事後学習4時間)	①コードを機能ごとに分類し、フォルダ分けする方法について理解する ②プロジェクト構造を明確にし、ディレクトリしていく 課題：コードを役割ごとにディレクトリを分けて構築する

16	Pythonバックエンド初級15 一覧系取得APIを作成しよう (事後学習5時間)	①TO DOリストや項目を一覧で表示する方法について理解する ②一覧取得に必要なAPIを構築できる 課題：一覧取得用のAPIを構築する
17	Pythonバックエンド初級16 エラーハンドリングを強化しよう① (事後学習6時間)	①エラーハンドリングとその必要性について理解する ②TO DOリストにおけるエラーハンドリングのAPIを構築する 課題：TO DOリストにおけるエラーハンドリングのAPIを構築する
18	Pythonバックエンド初級17 エラーハンドリングを強化しよう② (事後学習6時間)	①TO DO項目におけるエラーハンドリングのAPIを構築する 課題：TO DO項目におけるエラーハンドリングのAPIを構築する
19	Pythonバックエンド初級18 一覧取得APIにページネーション処理を追加しよう (事後学習6時間)	①ページネーションの仕組みについて理解する ②通信料が過大にならないよう、ページング機能を構築する 課題：TO DOリストとTO DO項目をページネーションにて構築する
20	Python総まとめ (講義1時間)	①学習内容の総復習 ②Pythonの機能や応用操作について理解する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	WEBトレンド実践Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	WEBトレンド実践Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		1
使用教材	かやのき先生のITパスポート教室		出版社	技術評論社ケーション	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ITパスポートの合格を目指すと同時に情報処理の基本知識を「浅く広く」学ぶ。 ・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を習得する。				
到達目標	・ITパスポートの資格取得に向けて、基本的な知識を身につける。				
評価基準	・本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・確認テスト40%（全3回：ITパスポート取得に向けて用語や知識が定着している状態）、課題60%（全12回：ITパスポート取得に必要な頻出用語や基本知識を把握している状態）の割合で評価する。				
認定条件	・成績評価が2以上の者。 ・本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	WEBトレンド実践Ⅱ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 ハードウェアと基礎理論 (講義2時間、事後学習1時間)	①授業の目的や概要を理解し、ITパスポート資格について知る ②情報に関する理論や情報、コンピュータ構成、主記憶、半導体メモリ等について理解する 課題：第1章1～4についての演習問題
2	第1章ハードウェアと基礎理論 (講義2時間、事後学習1時間)	①入出力装置やインターフェースについて知る ②AIや確立と統計について理解する 課題：第1章5～8についての演習問題
3	第1章ハードウェアと基礎理論 第2章ソフトウェア (講義2時間、事後学習1時間)	①基数変換の理解、第1章の総復習 ②ソフトウェアとファイル管理、バックアップについて知る 課題：第1章9～第2章3についての演習問題
4	第2章ソフトウェア (講義2時間、事後学習1時間)	①表計算（相対参照、絶対参照、関数）について理解する ②ユーザインターフェース、マルチメディアについて知る、第2章の総復習 課題：第2章4～8についての演習問題

5	第1、2章まとめ (事後学習2時間)	①第1章ハードウェアと基礎理論について総復習する ②第2章ソフトウェアについて総復習する 確認テスト：第1章、第2章
6	第3章システム構成 (講義2時間、事後学習1時間)	①コンピュータの形態、システム構成、信頼性、評価について知る ②IoTシステムと組み込みシステム、ソリューションビジネスとシステム活用促進について理解する 課題：第3章についての演習問題
7	第4章ネットワーク (講義2時間、事後学習1時間)	①ネットワークの構成、無線LANについて知る ②通信プロトコルについて理解する 課題：第4章1～3についての演習問題
8	第4章ネットワーク (講義2時間、事後学習1時間)	①インターネットの仕組み、通信サービスについて知る ②Webページ、電子メールについて理解する 課題：第4章4～6についての演習問題
9	第3、4章まとめ (事後学習2時間)	①第3章システム構成について総復習する ②第4章ネットワークについて総復習する 確認テスト：第3章、第4章
10	第5章セキュリティ (講義2時間、事後学習1時間)	①情報資産と脅威、サイバー攻撃について知る ②情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメントについて理解する 課題：第5章1～4についての演習問題
11	第5章セキュリティ (講義2時間、事後学習1時間)	①利用者認証、ネットワークセキュリティについて知る ②暗号化技術、デジタル署名と認証局について理解する 課題：第5章5～8についての演習問題
12	第6章データベース (講義2時間、事後学習1時間)	①データベースとデータ操作、データベース設計について知る ②データの正規化について理解する 課題：第6章1～3についての演習問題
13	第6章データベース (講義2時間、事後学習1時間)	①データの抽出と論理演算について知る ②データの整列と集計、トランザクション処理について理解する 課題：第6章4～6についての演習問題
14	第7章アルゴリズムとデータ構造 (講義2時間、事後学習1時間)	①アルゴリズムとデータ構造について知る ②疑似言語、プログラム言語とマークアップ言語について理解する 課題：第7章についての演習問題
15	第5、6、7章まとめ (事後学習3時間)	①第5章セキュリティ、第6章データベースについて総復習する ②第7章アルゴリズムとデータ構造について総復習する 確認テスト：第5章、第6章、第7章
16	まとめ (講義2時間)	①第1～7章までの総復習 ②つまづきやすいポイントの確認を行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	WEBトレンド実践Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	WEBトレンド実践Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		1
使用教材	なし		出版社	なし	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITパスポートの合格を目指すと同時に情報処理の基本知識を「浅く広く」学ぶ。</li> <li>・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を習得する。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITパスポートの資格取得に向けて、基本的な知識を身につける。</li> </ul>				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。</li> <li>・確認テスト40%（全3回：ITパスポート取得に向けて用語や知識が定着している状態）、課題60%（全11回：ITパスポート取得に必要な頻出用語や基本知識を把握している状態）の割合で評価する。</li> </ul>				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価が2以上の者。</li> <li>・本科目の課題や確認テストが提出されている者。</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	WEBトレンド実践Ⅰ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	与那原 大輔	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第8章マネジメント (講義2時間、事後学習1時間)	①授業の目的や概要を理解し、第8章以降のポイントについて知る ②企画・要件定義プロセス、開発プロセス、テスト手法と運用・保守プロセスについて理解する 課題：第8章1～3についての演習問題
2	第8章マネジメント (講義2時間、事後学習1時間)	①ソフトウェア開発手法について知る ②プロジェクトマネジメント、タイムマネジメント、ITサービスマネジメント、システム監査について理解する 課題：第8章4～8についての演習問題
3	第8章まとめ (事後学習2時間)	①第8章マネジメントについての総復習 確認テスト：第8章
4	第9章企業活動と法務 (講義2時間、事後学習1時間)	①財務諸表、損益分岐点と資産管理について知る ②知的財産権について理解する 課題：第9章1～3についての演習問題

5	第9章企業活動と法務 (講義2時間、事後学習1時間)	①セキュリティ関連・個人情報関連法規、労働関連・取引関連法規について知る ②業務分析について理解する 課題：第9章4～6についての演習問題
6	第9章企業活動と法務 第9章まとめ (講義1時間、事後学習3時間)	①データ利活用と問題解決、標準化について知る ②第9章企業活動と法務についての総復習 課題：第9章7～8についての演習問題 確認テスト：第9章
7	第10章第4次産業革命とビッグデータ (講義2時間、事後学習1時間)	①第4次産業革命とビッグデータについて知る ②企業活動、企業統治と内部統制について理解する 課題：第10章1～3についての演習問題
8	第10章第4次産業革命とビッグデータ (講義2時間、事後学習1時間)	①経営戦略について知る ②情報システム戦略と業務プロセス、マーケティング戦略について理解する 課題：第10章4～6についての演習問題
9	第10章第4次産業革命とビッグデータ (講義2時間、事後学習1時間)	①技術戦略、業績評価と経営管理システムについて知る ②ビジネスシステムとエンジニアリング、e-ビジネスについて理解する 課題：第10章7～10についての演習問題
10	第10章まとめ (事後学習2時間)	①第10章第4次産業革命とビッグデータについての総復習 確認テスト：第10章
11	第1～7章まとめ (講義2時間、事後学習1時間30分)	①ITパスポートに関わる第1～7章までの総復習 課題：第1章～7章までの演習問題
12	過去問題① (事前学習2時間、講義1時間30分)	①過去問題について取り組む 課題：過去問題①
13	過去問題② (事前学習2時間、講義1時間30分)	②過去問題について取り組む 課題：過去問題③
14	過去問題③ (事前学習2時間、講義1時間30分)	②過去問題について取り組む 確認テスト：過去問題②
15	まとめ (講義2時間)	①ITパスポート取得に向けての総復習 ②つまづきやすいポイントの確認を行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	PC基礎演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	PC基礎演習Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		2
使用教材	よくわかる Word 2024 & Excel 2024 & PowerPoint 2024 Office 2024/Microsoft 365 対応		出版社	FOM出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	・ Word、Excel、PowerPointの基礎を学び基本的な操作を習得する。 ・ MOS資格取得にむけた知識を身につける。				
到達目標	・ Word、Excel、PowerPointの基本的な操作、活用ができる。				
評価基準	・ 本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。 ・ 確認テスト40%（全4回：Excel、Word、PowerPointを活用した資料作成）、課題60%（Excel、Word、PowerPointの基本的な操作、文書作成）の割合で評価する。				
認定条件	・ 成績評価が2以上の者。 ・ 本科目の課題や確認テストが提出されている者。				
関連資格	なし				
関連科目	PC基礎演習Ⅱ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	吉田 正明	実務経験		○	
実務内容	大手IT企業にて業務改善等のコンサルティング業務に従事。 また、ITサービスの企画も経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション さあ、はじめようWord2024 (講義1時間30分、事後学習30分)	①授業の目的や概要を理解し、PC操作の基礎を理解する ②Wordの特徴、PC操作やタイピングの基礎を理解する 課題：タイピング練習
2	文書を作成しよう (講義2時間、事後学習2時間)	①Wordの基本的な操作を理解する ②ページレイアウト、書式設定や入力を身につける 課題：練習問題の作成（案内文書）
3	表現力のある文書を作成しよう (講義2時間、事後学習2時間)	①ワードアート、画像の挿入ができる ②段落罫線やページの背景設定ができる 課題：練習問題の作成（新刊チラシ）
4	表のある文書を作成しよう (講義2時間、事後学習2時間)	①表の作成やレイアウトの変更ができる ②表に書式を設定する 課題：練習問題の作成（応募用紙作成）

5	Wordまとめ (講義1時間、事後学習2時間)	①Wordの基本的な操作ができる ②用途に応じた資料が作成できる 確認テスト：総合問題1
6	さあ、はじめようExcel2024 (講義1時間30分)	①Excelの特徴、基礎を理解する ②ブックとシートの違いを理解する
7	データを入力しよう (講義1時間30分、事後学習2時間)	①セルにデータを入力する ②数式のコピーや修正ができる 課題：練習問題の作成(集計表)
8	表を作成しよう (講義2時間、事後学習2時間)	①関数を活用して、データを求められる ②セルの調整や印刷イメージの確認ができる 課題：練習問題の作成(売上実績表)
9	グラフを作成しよう (講義2時間、事後学習2時間)	①グラフの作成ができる ②グラフの書式を設定できる 課題：練習問題の作成(来場者数報告グラフ)
10	Excelまとめ (事前学習2時間、講義1時間)	①データベース機能の基礎を理解する ②データの抽出ができる 課題：練習問題の作成(データベース整理)
11	Excelまとめ (事前学習2時間、講義1時間)	①Excelの基本的な操作ができる ②用途に応じた資料が作成できる 確認テスト：総合問題4
12	さあ、はじめようPowerPoint2024 (講義1時間)	①PowerPointの特徴、基礎を理解する ②PowerPointの基本要素を理解する
13	プレゼンテーションを作成しよう (講義4時間、事後学習2時間)	①プレゼンテーション資料の基礎を理解する ②用途に応じた内容を追加できる 課題：練習問題の作成(活動報告プレゼンテーション)
14	スライドショーを実行しよう (講義2時間、事後学習2時間)	①スライドの切り替え、アニメーションが設定できる ②発表者ツールの基礎を理解する 課題：練習問題の作成(アニメーション付き活動報告プレゼンテーション)
15	アプリ間でデータ連携をしよう (講義2時間、事後学習2時間)	①貼り付けの種類の違いを理解する ②アプリ間のデータ連携ができる 課題：練習問題の作成(プレゼンテーションの編集)
16	PowerPointまとめ (事前学習2時間、講義1時間)	①PowerPointの基本的な操作ができる ②用途に応じた資料が作成できる 確認テスト：総合問題7
17	総合問題2 (事前学習2時間、講義30分)	①Wordでチラシが作成できる ②画像や表の挿入ができる 課題：総合問題2(チラシ作成)
18	総合問題3 (事前学習2時間、講義30分)	①Wordで申込書の作成ができる ②インデントの調整ができる 課題：総合問題3(申込用紙作成)
19	総合問題5 (事前学習2時間、講義30分)	①データからグラフの作成ができる ②グラフのラベルを活用できる 課題：総合問題5(修理対応実績表・グラフ)

20	総合問題6 (事前学習2時間、講義30分)	①データベースの作成ができる ②データの集計ができる 課題：総合問題6 (社内試験結果分析データベース)
21	総合問題8 (事前学習2時間、講義30分)	①PowerPointのアニメーションが活用できる ②画像の挿入、画面切り替えの設定ができる 課題：総合問題8 (販路拡大プレゼンテーション)
22	総合問題9 (事前学習3時間、講義1時間)	①アプリ間の共有ができる ②必要に応じたグラフ、表が挿入できる 課題：総合問題9 (キャンペーン実施報告書)
23	総合問題10 (事前学習3時間、講義1時間)	①アプリ間の共有ができる ②画像の調整、プレースホルダーの調整ができる 確認テスト：総合問題10 (利用者増加プレゼンテーション)
24	プレゼンテーション資料作成 (講義1時間、事後学習4時間)	①自己紹介のプレゼンテーションが作成できる ②テイストやデザインをカスタマイズできる 課題：自己紹介プレゼンテーション作成
25	プレゼンテーション資料作成 (講義1時間、事後学習4時間)	①自分が目指す職業紹介のプレゼンテーションができる ②画像やリンクなどが挿入できる 課題：職業紹介プレゼンテーション作成
26	MOSとは・模擬問題① (事前学習1時間、講義1時間30分)	①目指せる資格MOSについて理解する ②Word、Excelの基本が理解できている 課題：模擬問題①
27	総まとめ・模擬問題② (事前学習1時間、講義1時間)	①Word、Excelの基本が理解できている 課題：模擬問題②

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態		科目名	PC基礎演習 II		
必修選択	選択	(学則表記)	PC基礎演習 II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	WEB・ITビジネス科		2
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>よくわかる Microsoft Access 2019 基礎</li> <li>よくわかる Microsoft Access 2019 応用</li> </ul>		出版社	FOM出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>Accessの基礎を学び基本的な操作を習得する。</li> <li>MOS資格取得にむけた知識を身につける。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>Accessの基本的な操作ができる。</li> <li>データベースについて理解し、活用できる。</li> </ul>				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>本科目の授業動画の視聴状況、確認テストの正答率、課題の実施状況を総合的に鑑みて、素点化したうえで5段階評価にて行う。</li> <li>確認テスト40%（全4回：社会人としてのマナーや電話、メール対応が理解できている状態）、課題60%（全8回：業界、職種研究及び自己理解ができている、就職活動に向けての準備ができている状態）の割合で評価する。</li> </ul>				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価が2以上の者。</li> <li>本科目の課題や確認テストが提出されている者。</li> </ul>				
関連資格	なし				
関連科目	PC基礎演習 I				
備考	原則、この科目はオンデマンド型授業形式にて実施する。				
担当教員	吉田 正明	実務経験		○	
実務内容	<p>大手IT企業にて業務改善等のコンサルティング業務に従事。 また、ITサービスの企画も経験。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション Accessの概要 (講義1時間30分、事後学習30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業の目的や概要を理解する</li> <li>②Accessの特徴、基本的な操作を理解する</li> </ul> 課題：データベースを操作してみる
2	データベースの設計と作成 (講義1時間30分、事後学習30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①データベース構築の流れを確認する</li> <li>②データベースを設計、新規作成する</li> </ul> 課題：データベースを新規作成する
3	テーブルによるデータの格納 (講義1時間30分、事後学習30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①テーブルの概要を理解する</li> <li>②テーブルとフィールドについて理解し、マスターを作成する</li> </ul> 課題：商品マスターを作成する

4	テーブルによるデータの格納 (講義1時間30分、事後学習30分)	①必要なマスターを作成し、データの作成ができる ②データのインポートができる 課題：売上データを作成する
5	リレーションシップの作成 (講義1時間、事後学習1時間)	①リレーションシップについて理解する ②リレーションシップを作成する 課題：リレーションシップを作成する
6	クエリによるデータの加工 (講義1時間、事後学習1時間)	①クエリについて理解する ②クエリを活用して得意先電話帳の作成ができる 課題：得意先電話帳を作成する
7	クエリによるデータの加工 (講義1時間、事後学習1時間)	①売上データを作成する ②演算フィールドを理解する 課題：売上データを作成する
8	フォームによるデータの入力 (講義1時間、事後学習1時間)	①フォームについて理解する ②商品マスターの入力画面の作成、編集ができる 課題：商品マスターの入力画面を作成する
9	フォームによるデータの入力 (講義1時間、事後学習1時間)	①複数のマスターの入力画面の作成、編集ができる ②売上データの入力画面の作成ができる 確認テスト：売上データの入力画面を作成する
10	クエリによるデータの抽出と集計 (講義1時間、事後学習1時間)	①条件に合致するレコードを抽出する ②様々な条件設定について理解する 課題：条件に合致するレコードを抽出する
11	クエリによるデータの抽出と集計 (講義1時間、事後学習1時間)	①比較演算子を利用して条件に合致するデータを抽出する ②様々な比較演算子について理解する 課題：比較演算子を用いてデータを集計する
12	レポートによるデータの印刷 (講義2時間、事後学習1時間)	①レポートについて理解する ②様々な印刷形式を理解し、印刷ができる 課題：設定に合わせた印刷データを出力する
13	総合問題① (事前学習2時間、講義2時間)	①経費管理データベースが作成できる 課題：総合問題①
14	総合問題② (事前学習2時間、講義2時間)	①受注管理データベースが作成できる 課題：総合問題②
15	データベース (講義2時間、事後学習1時間)	①その他の便利機能について知る ②前回までの総復習
16	データベース (講義2時間、事後学習1時間)	①データの並べ替えができる ②データの検索と置き換えができる 課題：データを条件に応じて変更できる
17	データベース (講義2時間、事後学習1時間)	①データの抽出ができる ②抽出条件の設定ができる 課題：データから必要なデータを抽出する
18	データベース (講義2時間、事後学習2時間)	①データの集計ができる ②ピボットテーブルについて理解する 課題：データの集計ができる
19	Excelまとめ MOSとは (講義1時間30分、事後学習30分)	①前回までの総復習およびExcel応用知識を理解する ①MOSや出題範囲について理解する 課題：MOS対策環境構築

20	出題範囲① (講義2時間)	①ブック内の移動ができる ②ワークシートやブックの書式を設定できる
21	出題範囲① (講義2時間)	①オプションと表示をカスタマイズできる ②共同作業のためのコンテンツ設定ができる
22	出題範囲① (講義1時間、事後学習1時間)	①ブックにデータをインポートする ②ワークシートやブックの管理について理解できる 課題：確認問題① (ワークシートやブックの管理)
23	出題範囲① (講義1時間)	①確認問題 ①解説
24	出題範囲② (講義2時間)	①シートのデータを操作する ②セルやセルの範囲の書式を設定する
25	出題範囲② (講義2時間、事後学習1時間)	①名前付き範囲を定義する、参照する ②データを視覚的にまとめる 課題：確認問題② (セルやセル範囲のデータの管理)
26	出題範囲② (講義1時間)	①確認問題 ②解説
27	出題範囲③ (講義2時間)	①テーブルを作成する、書式設定する ②テーブルを変更する
28	出題範囲③ (講義1時間、事後学習1時間)	①テーブルのデータをフィルターする、並べ変える 課題：確認問題③ (テーブルとテーブルのデータの管理)
29	出題範囲③ (講義1時間)	①確認問題 ③解説
30	出題範囲④ (講義2時間)	①参照を追加する ②データを計算、加工する
31	出題範囲④ (講義1時間、事後学習1時間)	①文字列を変更する、書式設定する 課題：確認問題④ (数式や関数を使用した演算の実行)
32	出題範囲④ (講義1時間)	①確認問題 ④解説
33	出題範囲⑤ (講義3時間)	①グラフを作成する ②グラフを変更する
34	出題範囲⑤ (講義1時間、事後学習1時間)	①グラフを書式設定する 課題：確認問題⑤ (グラフの管理)
35	出題範囲⑤ (講義1時間、課題1時間)	①確認問題⑤解説 課題：模擬問題実施環境整備
36	模擬問題① (事前学習1時間、講義1時間)	①模擬問題①解説 課題：模擬問題①
37	模擬問題② (事前学習1時間、講義1時間)	①模擬問題②解説 課題：模擬問題②

38	模擬問題③ (事前学習1時間、講義1時間)	①模擬問題③解説 課題：模擬問題③
39	模擬問題④ (事前学習1時間、講義1時間)	①模擬問題④解説 課題：模擬問題④
40	模擬問題⑤ (事前学習1時間、講義1時間)	①模擬問題⑤解説 課題：模擬問題⑤